

「Fastener Fair Global 2023」に出展 欧州市場での展開を加速します

長期経営計画のビジョン『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』の実現のために、当社では事業のグローバル化を強化し加速させています。

写真は3月21日から23日まで、ドイツ・シュトゥットガルトで開催された

「Fastener Fair Global 2023」の当社出展の様子です。今号の特集はこの展示会のレポートです。

「Fastener Fair Global 2023」は世界各国から締結関連企業996社が出展する世界最大のファスナー国際見本市です。本展には、締結部品を調達および取引するディストリビューター、サプライヤー、エンジニア、その他の業界の専門家が多数来場しました（コロナ禍のため前回2019年以来4年ぶりの開催となりました）。

当社はこれまで中国、台湾、インドネシア、タイ、マレーシアなどに拠点をおき、主に東南アジア、そして自動車分野対応として北米を中心に、海外展開を図ってきましたが、今後はウイングをより広げ、欧州市場での展開を活発にしていまいります。昨年5月の「ハノーバメッセ」初出展でも多くの方にご訪問をいただきましたが、今回の「Fastener Fair Global 2023」でも、これまでのアジアやアメ

リカのお客さまとは違う、新しい視点での問い合わせも多く、今後の市場の広がりを大いに期待できるものとなりました。前回の「ハノーバメッセ」ではねじ締め装置中心のPRでしたが、今回は各種ねじ製品を中心に訴求しました。当社ブースは、42㎡の3面開放。大通りに面した位置で集客性も高く、各国の部品製造メカ・ねじ商社などが当社ブースに多数訪問。とくにCPグリップやジョイスタッド、アルミタイトなどの高機能製品が注目を浴びました。

日東精工グループでは、連結子会社の日東精工アナリテック(株)が本年4月にドイツ・デュッセルドルフに「日東精工アナリテックヨーロッパ」を設立しています。こういったグループとの連携も視野に入れてまいります。



■今回の出展製品は

- ① 特殊処理ねじ【CPグリップ】
※コンタミネーション吸着性能
- ② クリンチングスタッドボルト
【ジョイスタッド-S, HT, SS, WT】
- ③ 溝付きファスナー「Gピン」
- ④ 樹脂用セルフタッピンねじ【ギザタイト】
- ⑤ 金属用セルフタッピンねじ【アルミタイト】
- ⑥ 樹脂用セルフタッピンねじ【カラーレストタイト】
- ⑦ 緩み止めねじ【アブスロック】
- ⑧ 【冷間圧造部品】
- ⑨ 異種金属接合技術【AKROSE】
- ⑩ ねじ締めロボット【ねじ圧送供給式 軽量ねじ締めユニット (FM514C) + ユニバーサル社協働ロボット】
- ⑪ 日東精工グループの(株)伸和精工製【各種プレス品】

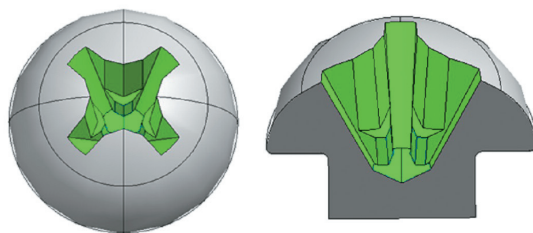
建築現場のよくある〈困った〉に対応 サイズの異なるドライバビットを共用できる 十字穴「シェアクロス」を開発

建築作業現場などでの手作業によるねじの締結・緩め作業においては、ねじの十字穴サイズ毎にドライバビットを交換する作業に手間がかかることから、十字穴のサイズに適合しないドライバビットを使用して分解・組み立てが行われる場合があり、その結果、十字穴潰れ等のトラブルが発生するという問題を抱えていました。

このような問題に対処するため、これまで当社で培われた工業用ファスナー（ねじ）の製造技術や金型製造技術を活かして研究を重ねた結果、例えば、2番と3番といった番手の隣り合うドライバビットを共通使用できる十字穴「シェアクロス」の開発に成功しました。「シェアクロス」は様々な締結現場に適応し、お客様のモノづくりにおける作業効率の向上をサポートしてまいります。

同製品は、より多くのお客さまのモノづくりを支援するため、当社ならびに建築用ねじを手掛け

るケーエム精工(株)（当社グループ会社）の2社共同で4月1日より本格的に販売を開始、2023年度に日東精工グループ月産50万本の出荷を目指します。



「シェアクロス」は、例えば2番と3番といった番手の隣り合うドライバビットを共通使用できるよう、小さいサイズの十字穴を基本形状としつつ、これに大きいサイズの十字穴を重ね合わせた形になっている。その上でトルクを伝達する駆動面を共通使用する構造になっており、これにより、ドライバビットの最適な嵌め合いを実現し、駆動部としての性能を最大限発揮できるようになっている



より詳しくはこちらから

協働ロボットのコラボ先がさらに増えました テックマンロボット社に対応の 「PD400TM」シリーズを新発売

当社では高速高精度で作業をする産業用ねじ締めロボットだけでなく、人の仕事をサポートする、文字通り、人と協働するねじ締めロボットも開発しています。省力や正確さ、生産性の向上につながり、それでいて産業用ロボットのように安全柵を設ける必要もなく、スペースもとらないことで比較的導入しやすいのが協働ロボットの特徴で、近年需要が増えています。

当社ではロボットメーカーとのコラボも積極的に進めており、2021年に協働ロボットの世界的メーカーユニバーサルロボット社の「UR+」認証取得を皮切りに、2022年10月にはファナック社協働ロボット用ねじ締めユニット「PD400FA」シリーズ、安川電機の人協働ロボットに対応する「PD400YE」も開発していますが、今般、さらにテッ



「PD400TM」のドライバには、各方面で実績のある当社製「NXドライバT3シリーズ」を採用し、高品質なねじ締めを可能とした

クマンロボット社製協働ロボットTMシリーズの「TM Plug&Play」に対応したねじ締めユニット「PD400TM」シリーズの販売を開始しました。ねじ締めのプログラミングを容易にするプラグインソフト「TMコンポーネント」を用意し、テックマンロボット社の「TM Plug&Play」の認証を取得。自動化設備の初心者にもセットアップしやすく、かつ使いやすいことが特長となっています（自動車部品業界、電機メーカ、自動機メーカをターゲットに4月1日から販売開始）。

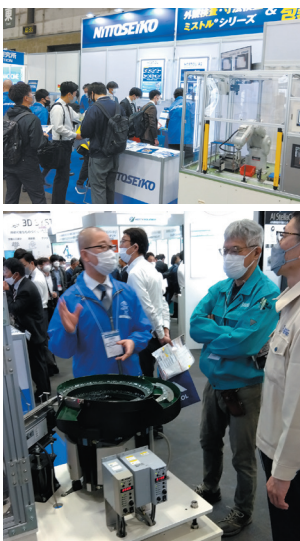


より詳しくはこちらから

「第8回 名古屋 ものづくりワールド (第4回 計測・検査・センサ展)」に出展

4月12日から4月14日まで「ポートメッセなごや」で開催された「第8回名古屋ものづくりワールド(第4回計測・検査・センサ展)」に当社も出展しました。

回転テーブル型検査選別装置「ミストル®」やロボット把持型検査選別装置「ミストル®ロボタイプ」を出展、それぞれ実演コーナーをもうけ「ミストル」の高速で高精度な画像検査や「ミストルロボタイプ」のロボットによるやさしい把持で傷をつけることなく外観・寸法を検査する様子などをデモンストレーション。そして人工知能搭載「ミストル®AI」も参考出展し、好評を博しました。また子会社の日東公進(株)製品「包装機シリーズ」と通電検査機「コンタクトチェッカー」を動画で視聴いただきました。



生産性・品質の向上とCO₂排出量の削減に向けて

当社ではファスナー事業本部八田工場の敷地内に新工場を建設します。

中期経営計画「Mission G-second」では、2025年度目標CO₂排出量を〈2019年比12%削減〉と定めています。この高い目標数値はそれぞれの事業所、工場の努力の上に成り立つものですが、今般、とくにウエイトの高いファスナー事業をターゲットにして、本社工場に残る一部ファスナー製造工程の設備移設やファスナー製品の製造設備統合など製造工程を見直すことにしたものです。新たな設備投資も行い、より高い生産性ならびに品質の向上を、そしてCO₂排出量の削減を目指します。3月3日に地鎮祭、起工式を執り行いました。新工場の完成は2023年10月を予定しています。



より詳しくは
こちらから

「健康経営優良法人2023(ホワイト500)」に3年連続で認定される

3月8日、「健康経営」に積極的な取り組みを行う優れた企業として、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)ホワイト500」に、当社が3年連続で認定されました。またそれに先立ち、2月17日にはスポーツ庁から「スポーツエールカンパニー2023」の認定も受けています。

そのほか当社グループでは日東公進(株)が「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)ブライツ500」を2年連続で認定されたほか、(株)ニッセイと(株)ファインが「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)」の認定をはじめて受けました。

当社は社是に〈健康を増進し、よい人づくりを行

う〉ことをうたい、創業当初より健康で働きやすい職場環境づくりに努めています。2019年から始まった中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」および新中期経営計画「Mission G-second」の戦略テーマにも「健康経営」の概念を盛り込んでおり、今後も社員のQOL(生活の質)向上に取り組んでまいります。



より詳しくは
こちらから

【誠の言葉】

積小為大

荒賀誠

か つてイチロー選手が日米通算
3000本安打を達成したと

きに次の目標を聞かれ「明日、もう
1本打つことです」と答えたことが
あります。途方もない大きな目標を
達成するためには、じつは小さな目
標とそれを達成する喜びを知ること
が大切です。

「積小為大（せきしょういだい）」。
小さな努力の積み重ねが大きな成果
につながるという意味で、二宮尊徳
の言葉です。『92歳総務課長の教え』
（ダイヤモンド社）という書籍で、
著者の玉置泰子さん（世界最高齢の
総務部員としてギネス記録認定）が

この言葉を紹介されていました。

玉置さんが働くうえで大事にして
いるのは「好奇心を失わない」こと
だそう。小さなことにも好奇心をも
ち自分なりのアイデアで工夫を重ね
るようにすれば、毎日のルーティン
ワークも楽しくなる。明日はこんな
ことを試してみようという気持ちに
なれば、明日がやってくるのが待ち
遠しくなるとのことでした。

かつては勤勉の象徴として置かれ
ていた二宮尊徳（金次郎）像を目に
する機会も減りましたが「積小為
大」、心に刻みたい言葉です。

代表取締役社長 荒賀誠

「幸せ」を見つけるヒント — 5月

徹底的ホンモノ志向で幸せを！

これから新茶のシーズンです。当社本社がある
綾部もじつはお茶どころで、宇治へ高級茶葉を供
給する生産地の一つになっています。その綾部茶
を使った新しい特産品が「綾部抹茶チョコレート」。
抹茶チョコレートといっても、今やそれ自体は目
新しくありませんが、こちらは超ホンモノ志向。
板チョコ1枚でなんと1000円！ 値段でもベルギ
ーやスイス産の高級チョコに引けをとりません。
綾部まちなかにある佐々木酒店さんが京都府北部

のチョコレート職人さんに
依頼してつくらせたもので
す。ふつう抹茶チョコとい
うと抹茶の緑をまず思い浮
かべますが、カカオが75%
なので色は緑色ではありません。
抹茶の香りもさほど
強くありませんが、食べていくうちに静かに漂っ
てくるお茶の香りを楽しめる趣向になっています。

ただ甘い、ただ香るというのでなくこれぞホン
モノ。少し高めですがなるべくホンモノに触れるよ
うにしたいもの。それが幸せへの近道になります。

代表取締役会長 材木正己



※日東精工はサステナビリティ経営（絆経営）を通して皆さんの幸せを願っています。



発行：日東精工株式会社経営企画室

当社ホームページでは本ニュースレターのバックナンバーほか、事業や新製品のより詳しい情報を閲覧いただけます